

生活と變つていつて、その理想は悉く裏切られてゐるのである。

八

◇甘言を以て、利を以て誘ふ、それにもならない者には、生半可な抽象的理論を以て、それにも動じないものには脅迫を以て、さうして無智な純真な大衆は容易に乗せられる。今迄顧みられなかつたこの大衆の未開拓の分野は今やこの巧妙な戦術を以て種々な團體組織下の戦線となつて擴大されてゆく。或識者は其の妥當なる着眼には嘆服せざるを得ないと云つてゐる。所が戦争には運よく勝つても大衆の生活の大部分は以前よりも吃度苦しくなる。大衆の眞の生活の向上を目標として戦はれてゆく筈の多くの團體組織なるものの中には、まるで大衆は道具の様に使はれるに過ぎないで、意志の主體と云ふものは却つて團體其のもの即ち少數指導者にある様にしか見えぬものがある。そして一旦其の團體組織下に加入した以上あらゆる脅迫彈壓を以て結束を強ひられ、血と汗とにまみれ乍ら驅り立てられてゆく。だがこの深刻な物質運動も私共の生活にどれだけの幸福を齎したか、それはたゞ指導者達のものだけではなかつたか？これは五十萬の貴族やブルを一夕にして没落せしめた露國の現状が何よりも雄辯に物語つてゐると思ふ。

◇かゝる物質運動も結局は濁れる社會に對する一種の淨化運動であると稱し、又汚れたる人間性への反省の爲めのものと見るには餘りに犠牲が多く人間の道義心や理性を無視した醜いもので、我々は先づよくこの世相を考へて善處せなければならぬと思ふ。眞面目に自分の現實の生活に就いて考慮をめぐらして見ねばならぬと考へる。さうして其所に何物かの嚴肅正大な念願が燃えて來はしないか！

◇郷土文學の提唱はかゝる世相にあつては第二義的にも第三義的にも考へるであらうが、其の實はかゝる時代こそは大いに郷土文學の振興を提唱すべき秋で、地方もだん／＼行詰つて來たなど云ふ聲に對して、あくまでも必要なことで、我々はこの健實な文藝趣味の涵養によつて、もつとのんびりした生活を求め、純朴な敬虔な心の所有者となつて進んで行かなければ、我々の理想は却て裏切れるに違ひない。私共は先づ恵まれぬ物質的生活に對して呪詛をなす前に、生活を深め、人間性そのものに潤ひあらしめる郷土文學の精神的趣味の普及に努力したのである。健全な文學はたしかに我々の生活に一種の深いうほひを興へてくれるもので、世界の歴史を繙いても國家の危機に際してはこの國にも愛國の詩人があらはれてゐて、彼等が民衆の心を如何に正しく鼓舞し、ふるひ立たしめてゐるか事實が炳乎として輝いてゐるではないか。

◇物質文明に疲れたものは漸く目覺め様としてゐる。彼等は次第に自然を戀ひ、閑かな明るい生活を庶ひもとめ様としてゐる。人生を考へ始めたのである。健全なる郷土文學振興の提唱はかく

九